

別表第 1（第 2 条関係）

制 帽	男 性 用	地 質	濃紺色の布地
		制 式	円形とし、前ひさし及び顎ひもは、黒色の合成皮革製とする。 顎ひもの両端は、帽の両側において金色の金属製消防き章各 1 個で留める。 形状は、制帽制式の図のとおりとする。
		帽 章	帽の前面に、黒色の布地の台地に銀色の金属製消防き章を金色のモール製の桜模様で囲んだ標章を付ける。 形状は、制帽き章の図のとおりとする。
		周 章	帽の腰周りには、黒色のなな子織を巻き、消防司令以上は蛇腹組の金色の線及び蛇腹組の黒色の線を、消防司令補は蛇腹組の黒色の線を巻く。 形状及び寸法は、制帽周章の図のとおりとする。
	女 性 用	地 質	男性用と同様とする。
		制 式	平頭型とする。 形状は、制帽制式の図のとおりとする。
		帽 章	男性用と同様とする。
		周 章	男性用と同様とする。
合 冬 服	上 衣	地 質	制帽と同様とする。
		制 式	背広ダブルとし、消防き章を付けた金色の金属製ボタン各 3 個を 2 行に付ける。 前面の下部の左右に各 1 個のふた付きポケットを付け、胸部の左に 1 個のポケットを付ける。 女性用の打合わせは左前とする。 形状は、合冬服上衣制式の図及び合冬服上衣ボタンの図のとおりとする。
合 冬 服	下 衣	そ で	表半面に 1 条の黒色のしま織線をまとう。 消防司令以上は、しま織線の下部に 1 条の蛇腹組の金色の線をまとい、その下部に金色の金属製消防き章を付ける。 消防司令補は、しま織線の下部に 1 条の蛇腹組の金色の線をまとう。

			消防士長は、しま織線の下部に 1 条の蛇腹組の銀色の線をまとう。 形状及び寸法は、合冬服上衣そで章の図のとおりとする。	
		襟章	金属製とし、銀色の京都市紋章の略章（以下「市章」という。）を載せた桜型の台地に金色の消防き章を付けたものとする。 上衣の左下襟に付ける。 形状は、合冬服上衣襟章の図のとおりとする。	
		ズボン	地質	上衣と同様とする。
			制式	長ズボンとし、両もも及び後方の右に各 1 個のポケットを付け、後方のポケットは、ボタンで留める。 すそは、シングルとする。 形状は、合冬服ズボン制式の図のとおりとする。
	スカート	地質	上衣と同様とする。	
		制式	セミタイト型とし、後ろファスナー開きとする。 後面の中央部にスリットを開ける。 前脇の右にポケットを付ける。 形状は、合冬服スカート制式の図のとおりとする。	
	夏服	上衣	地質	淡青色の布地
			制式	台襟付きシャツカラーとする。 ボタン 5 個を 1 行に付ける。 胸部の左右に各 1 個の蓋付きポケットを付け、ボタンで留める。 袖は、長袖及び半袖の 2 種類とし、長袖の袖口は、ボタンで留める。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側をボタンで留める。 女性用の打合わせは左前とする。 形状は、夏服上衣制式の図のとおりとする。
		ズボン	地質	紺色の布地
			制式	長ズボンとし、両もも及び後方の左右に各 1 個のポケットを付け、後方のポケットは、ボタンで留める。 裾は、シングルとする。 形状は、夏服ズボン制式の図のとおりとする。

		スカート	地 質	ズボンと同様とする。
			制 式	合冬服スカートと同様とする。ただし、ポケットは、前脇の左右に付ける。 形状は、夏服スカート制式の図のとおりとする。
消 防 局 章			紺色の合成皮革製の台地とし、銀色の消防き章及び金色の「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字をオレンジ色の枠で囲んだものとする。 消防局章は、胸部の左に付ける。 形状は、消防局章の図のとおりとする。	
階 級 章			黒色の合成皮革製の台地とし、上下の両縁に金色の刺しゅう状の線を施し、中央に金色の平織状の線及び銀色の消防き章を付けたものとする。 階級章は、胸部の右に付ける。 形状及び寸法は、階級章の図のとおりとする。	
消 防 長 章			銀色の台地とし、3条の金色の線及び2条の黒色の線を施し、中央に、いぶし銀色の桜葉及び銀磨きの桜花で囲んだはめ込みの金色の消防章を配する。 消防長章は、階級章の上部に付ける。 形状及び寸法は、消防長章の図のとおりとする。	
ネ ク タ イ		濃紺色の布地で、幅ネクタイとする。		
ワ イ シ ャ ツ		白色の布地で、長そで又は半そでとする。		
ブ ラ ウ ス				
バ ン ド			黒色の皮革製とし、金属製前面革張り及び銀色の消防き章入りのバックルを付ける。 形状は、バンドの図のとおりとする。	
	地 質		紺色の布地	
	制 式		丸ワイド型とし、前ひさは、地質と同様とする。 帽の前面の上部に、「KYOTO」の文字を銀色の糸で刺しゅうし、当該文字を金色の糸で縁取る。 帽の前面の中央に、オレンジ色の糸で線を刺しゅうする。	

活 動 帽			帽の前面の下部に、「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字を銀色の糸で刺しゅうする。 帽の後面に、「京都市消防局」の文字を白色の糸で、刺しゅうする。 形状は、活動帽制式の図のとおりとする。
活 動 服	上 衣	地 質	紺色の難燃性の布地とし、襟及び後面の上部にオレンジ色を配する。
		制 式	ワイシャツカラーとし、掛け合わせにフルファスナーを付ける。 立て襟とし、胸部の右側に２個、左側に１個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 後面の上部に「京都市消防局 KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字を青紺色の反射材で入れる。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、活動服上衣の図のとおりとする。
		胸 章	地質と同様の台地に、紺色の刺しゅう状の縁取りを付け、赤色、黄色、紫色、銀色及び白色で図柄を、金色で「京都市消防局 KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」と記載した昇華プリントワッペンを付ける。 形状は、活動服胸章の図のとおりとする。
		所 属 章	地質と同様の台地に、所属等を明示する文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 形状は、活動服所属章の図のとおりとする。
		個 人 章	地質と同様の台地に、職員の名字を明示する文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 形状は、活動服個人章の図のとおりとする。
		地 質	紺色の難燃性の布地

	ズボン	制 式	長ズボンとし、両もも、両ももの側面及び後方の左右に各 1 個のポケットを付け、右ももの側面のポケットをファスナー、左ももの側面および後方のポケットを面ファスナーで留める。 裾は、シングルとする。 形状は、活動服ズボンの図のとおりとする。
	バ ン ド		黒色のナイロン製とし、帯に 6 本の反射糸を織り込み、ダブルピン方式のバックルを付ける。 形状は、活動服バンドの図のとおりとする。
救 助 活 動 服	上 衣	地 質	オレンジ色の導電性を有する難燃性の布地
		制 式	折り襟とし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右に各 1 個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、肘当て付き長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 前後面の上部及び肘当てに刺子を施す。 後面の上部に「京都市消防局」及び「F I R E R E S C U E」の文字を紺色の糸で刺しゅうする。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、救助活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸 章	地質と同様の台地に「京都市消防局」の文字を黒色の糸で刺しゅうする。 形状は、救助活動服胸章の図のとおりとする。
		所 属 章	活動服と同様とする。
		個 人 章	
	ズ ボ ン	地 質	上衣と同様とする。
		制 式	膝当て付き長ズボンとし、両ももの側面に各 1 個の蓋付きポケットを付ける。 前後面の上部及び膝当てに刺子を施す。 裾は、シングルとし、締めひもを通す。 形状は、救助活動服ズボン制式の図のとおりとする。
	バ ン ド		オレンジ色の合成繊維製とし、バンド金具を付ける。 形状は、救助活動服バンドの図のとおりとする。
	上 衣	地 質	明るい黄みがかった灰色の布地

合 冬 救 急 活 動 服		制 式	台襟付きシャツカラーの長袖とし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右に各 1 個の蓋付きポケットを付ける。 襟に白色の替え襟を付ける。 袖は、長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側を地質と似た色のボタンで留める。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、救急活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸 章	地質と同様の台地に、「京都市消防局」の文字を黄色の糸で刺しゅうする。 形状は、活動服と同様とする。
		所 属 章	活動服と同様とする。
		個 人 章	
	ズ ボ ン	地 質	暗灰色の布地
		制 式	長ズボンとし、両もも及び後方の左右に各 1 個のポケットを付け、後方のポケットは、ボックスプリーツ上切替え仕立てとする。 裾は、シングルとする。 形状は、救急活動服ズボン制式の図のとおりとする。
	バ ン ド		白色のビニール製とし、銀色のバックルを付ける。 形状は、救急活動服バンドの図のとおりとし、図中斜線部分に白色の反射テープを巻く。
夏 救 急 活 動 服	救 急 救 命 士 腕 章		紺色の布地の台地に、金色の糸で縁取り及び葉の図柄を、濃紺色の糸で上部の明るい黄色の台地に「救急救命士」の文字を、白色の糸で「ELSTA KYOTO」及び「KYOTO FIRE DEPARTMENT」の文字並びに中央の図柄及び消防き章を、それぞれ刺しゅうする。 救急救命士は、左上腕部に救急救命士腕章を付ける。 形状は、救急救命士腕章の図のとおりとする。
		地 質	明るい青みがかった灰色の布地

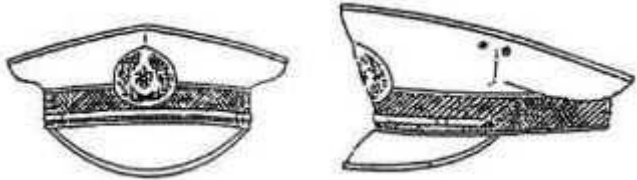
	識 別 章		オレンジ色、黄色又は灰色の反射ファブリック布地に耐熱素材の面ファスナーの表面両面テープで接着し、補強として周縁部付近を黒色の縫製糸で縫い合わせる。 隊名表示は特殊反射材の黒色とし、縁には特殊反射素材のシルバー色を圧着加工する。 形状は、防火帽識別章の図のとおりとする。
	し こ ろ		銀色、オレンジ色又は金色の耐熱性防水布地とし、表側中央部に面ファスナーを取り付け、オレンジ色、黄色又は灰色の識別章を取り付ける。 折り返し部分は濃灰色、オレンジ色又は黄土色とする。 形状及び寸法は、防火帽しころの図のとおりとする。
防 火 衣	上 衣	地 質	銀色の耐熱性防水布地
		制 式	立て襟とし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右及び側腹部の左右に雨蓋付きポケットを付ける。 胸部の左右、裾及び袖に反射布を縫い付ける。 後面の上部に、「京都市消防局」の文字を黒色で表示した反射布を縫い付け、裾部に、「KYOTO CITY」の文字をオレンジ色で表示する。 形状は、防火衣上衣制式の図のとおりとする。
	ズ ボ ン	地 質	濃紺の耐熱性防水布地 統括指揮隊員、特別装備隊員、本部救助隊員及び救助隊員は、オレンジ色の耐熱性防水布地
		制 式	膝当て付き長ズボンとし、左ももの側面に雨蓋付きポケットを付ける。 腰には、ベルトをつける。 裾は、シングルとし、ファスナーを付ける。 裾口に反射布を付ける。 形状は、防火衣ズボン制式の図のとおりとする。
手 袋	常 用 手 袋		白色の布地で、5本指とする。
	防 火 手 袋		布地又は皮革製で、5本指とする。
	作 業 手 袋		布地又は皮革製で、5本指とする。
	短 靴		黒色の皮革製又は合成皮革製とする。

靴	ゴ ム 長 靴		黒色の合成樹脂製長靴とする。
	防 火 靴		黒色の皮革製ブーツで、先芯入りとする。
	活 動 靴		黒色の皮革製編上靴で、先芯入りとする。
	救 急 靴		黒色の皮革製短靴で、先芯入りとする。
防 寒 衣	コート型	地 質	黒色の布地
		制 式	兼用襟（コンバーチブルカラー）とし、襟合せにはバックル付ベルトを設け、前合せは比翼仕立てのボタン留めとする。 両脇に各 1 個の箱ポケットを付ける。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側を地質と似た色のボタンで留める。 袖は、長袖とし、袖先にボタン留めベルトループ付の飾りベルトを設ける。 両腰部に調節バックル付ベルトを設ける。 形状は、防寒衣コート型制式の図のとおりとする。
		胸 章	胸部の左の上部に、地質と似た色の台地に銀色のき章及び金色の「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字をオレンジ色の枠で囲んだワッペンを付ける。 形状は、消防局章と同様とする。
	ジャンパー型	地 質	耐水性及び耐久性のあるネイビーを基調とした布地
		制 式	立ち襟とし、フードを付ける。 掛け合わせに、ファスナーを付ける。 右胸部及び左右腰部に各 1 個のポケットを付ける。 袖は 2 枚袖仕立てとし、袖口はインナーカフスリブ、裾はストッパー付きドロークコードを付ける。 左胸、右袖上腕の外側及び背面に「京都市消防局」及び「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字を反射材で入れる。 形状は、防寒衣ジャンパー型制式の図のとおりとする。
		胸 章	
雨 衣	上 衣	地 質	オレンジ色と灰色の防水性布地
		制 式	立ち襟とし、頭巾を付け、掛け合わせにファスナーを付け、前合わせはボタン及びマジックテープで留める。 前面の下部の左右に各 1 個の蓋付きポケットを付け

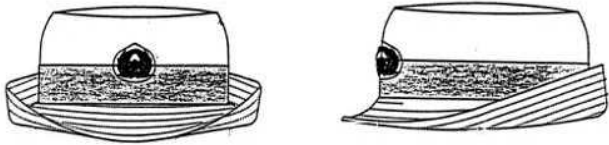
		制 式	る。 袖は、長袖とし、袖口の外側にはタブを付け、マジックテープで留める。 後面の上部に「京都市消防局」及び「K y o t o C i t y」の文字を銀色の反射材で入れる。 形状は、雨衣上位制式の図のとおりとする。
	ズ ボ ン	地 質	灰色の防水性布地
		制 式	長ズボンとする。 裾は、シングルとし、ファスナー及びマジックテープを付ける。 形状は、雨衣ズボン制式の図のとおりとする。

京都市消防吏員服制の形状及び寸法
数字は、寸法を示し、その単位はミリメートルとする。

制帽制式の図
(男性用)



(女性用)



制帽き章の図

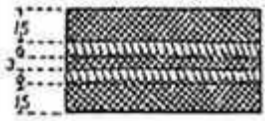


制帽帽章の図



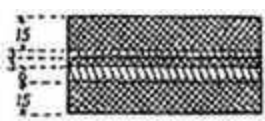
制帽周章の図

消防司監



消防司令

消防正監及び消防監



消防司令補

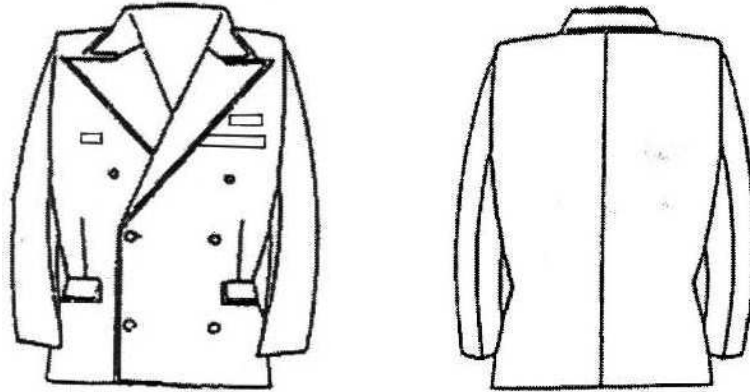
消防司令長



消防士長、消防副士長及び消防士



合冬服上衣制式の図



合冬服上衣ボタンの図



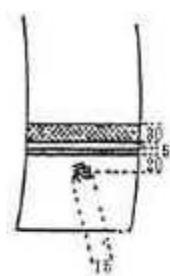
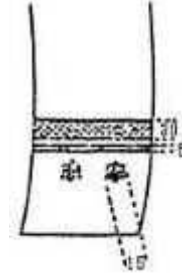
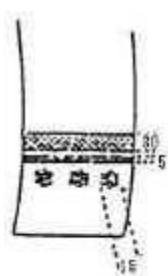
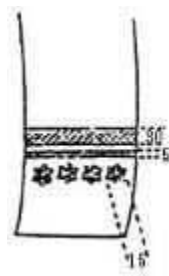
合冬服上衣そで章の図

消防司監及び消防正監

消防監

消防司令長

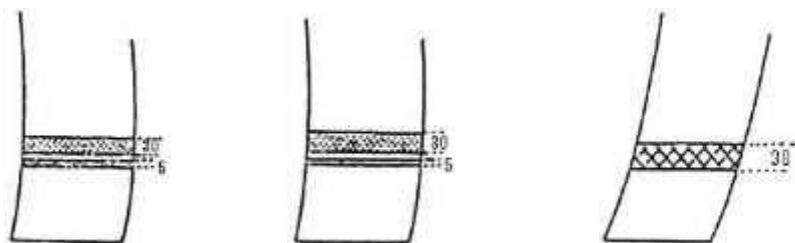
消防司令



消防司令補

消防士長

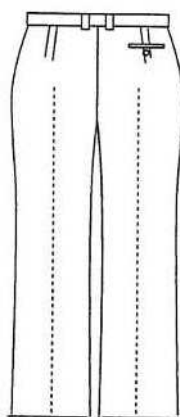
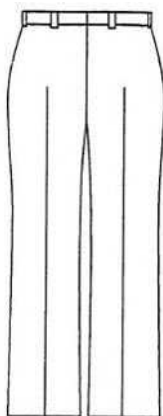
消防副士長及び消防士



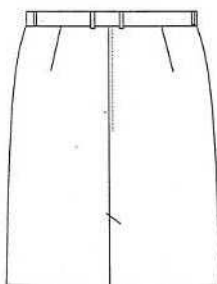
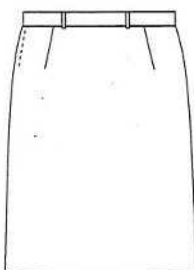
合冬服上衣襟章の図



合冬服ズボン制式の図

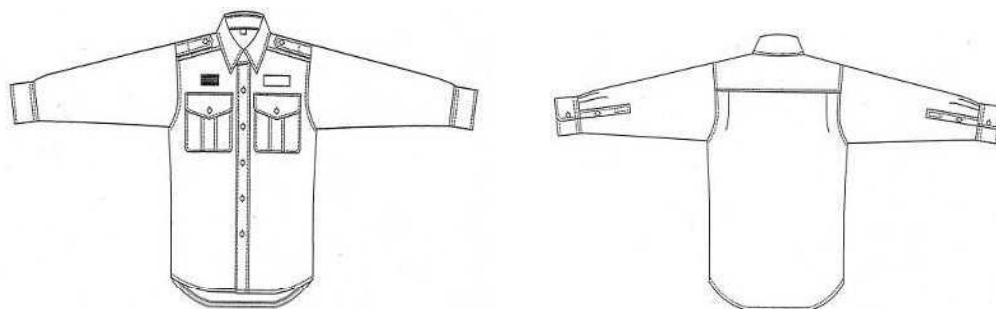


合冬服スカート制式の図

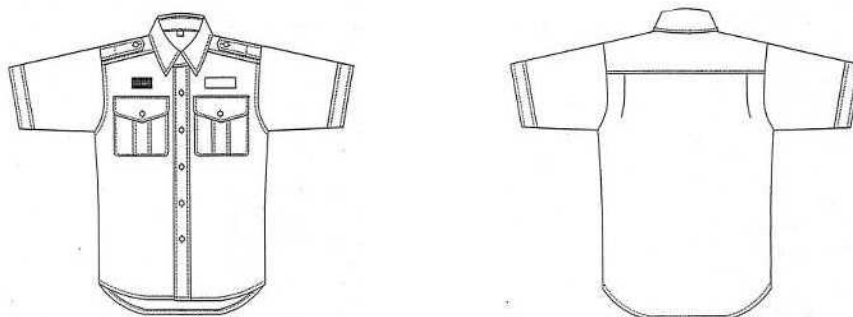


夏服上衣制式の図

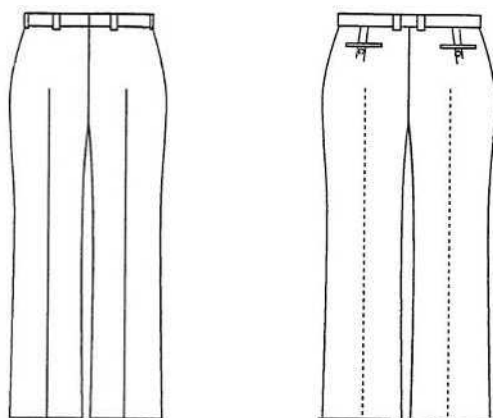
(長袖)



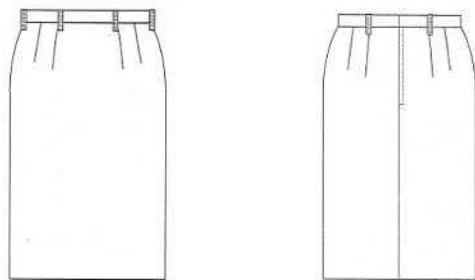
(半袖)



夏服ズボン制式の図



夏服スカート制式の図

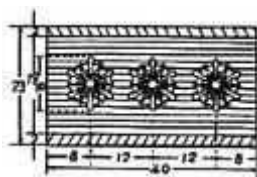


消防局章の図

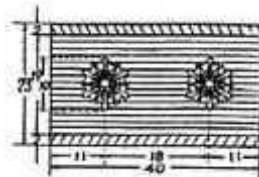


階級章の図

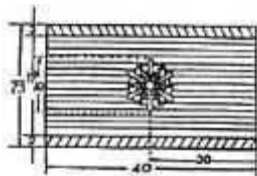
消防司監



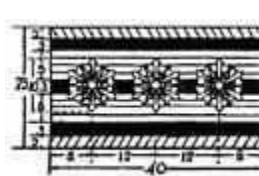
消防正監



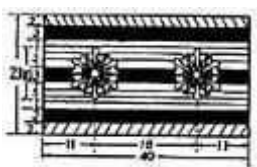
消防監



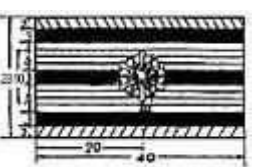
消防司令長



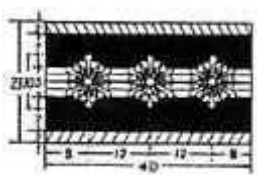
消防司令



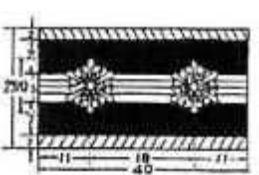
消防司令補



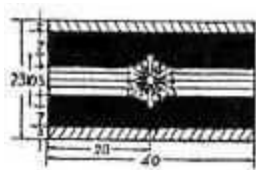
消防士長



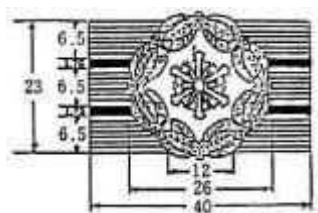
消防副士長



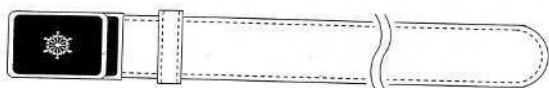
消防士



消防長章の図



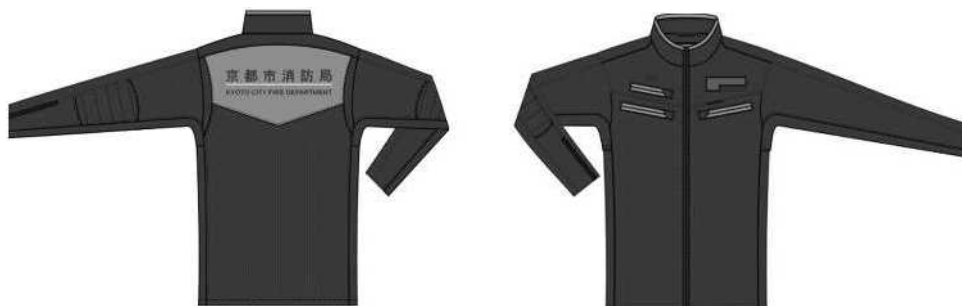
バンドの図



活動帽制式の図



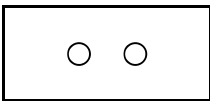
活動服上衣制式の図



活動服標識の図



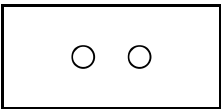
活動服所属章の図



所属等を明示する文字

区 分	明示する文字
消防局本部に勤務する 部長級以上の職員	「局長」、「〇〇担 当部長」等
消防局本部に勤務する 上記以外の職員	「総務」、「警防」等
消防署又は消防分署に 勤務する職員	「北」、「醍醐」等

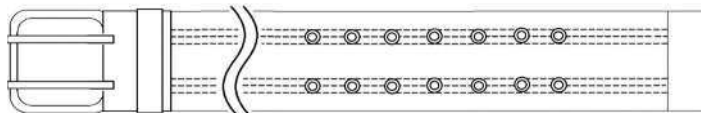
活動服個人章の図



活動服ズボン制式の図



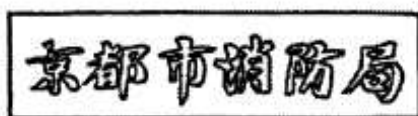
活動服バンドの図



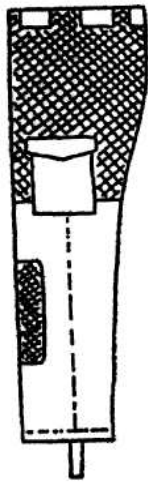
救助活動服上衣制式の図



救助活動服胸章の図



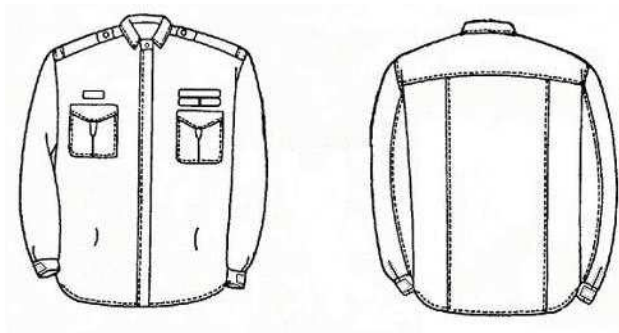
救助活動服ズボン制式の図



救助活動服バンドの図



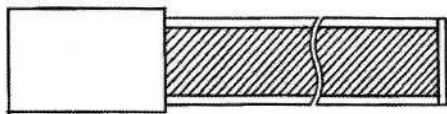
救急活動服上衣制式の図



救急活動服ズボン制式の図



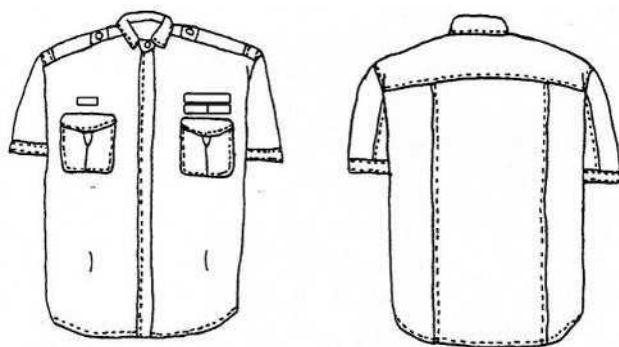
救急活動服バンドの図



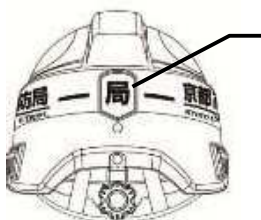
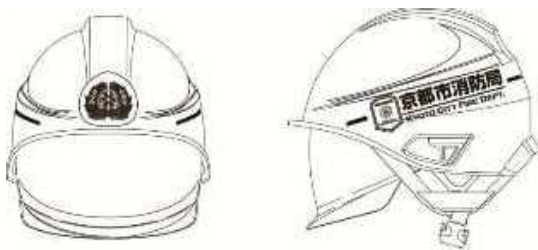
救急救命士腕章の図



夏救急活動服上衣制式の図
(半袖)



防火帽制式の図



所属等を明示する文字

防火帽帽章の図

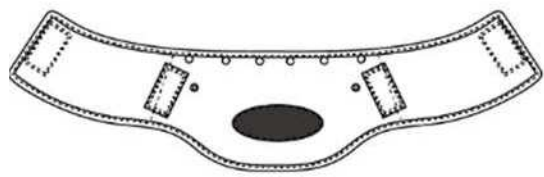


防火帽周章の図

階 級	周 章
消 防 司 監	8 3 15 3 15
消 防 正 監	8 3 8 3 15
消 防 監	8 4 8 4 8
消防司令長	8 4 4 4 8
消 防 司 令	8 4 8
消防司令補	4 4 8
消 防 士 長	4 4 4

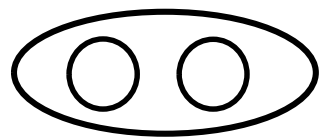
消防副士長	2 4 4
消 防 士	4

防火帽しころの図

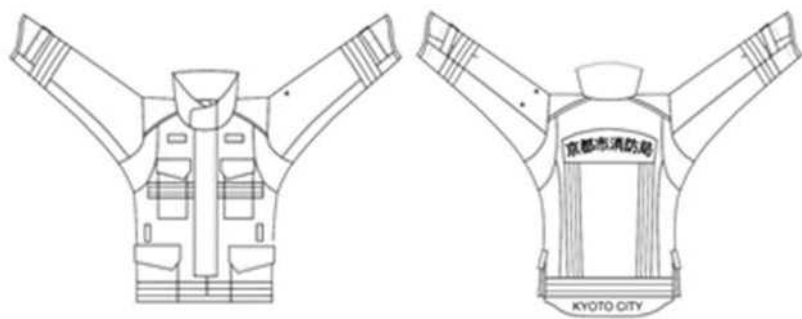


区 分	台地の色	明示する文字
局本部長	オレンジ色	「局本部長」
司令部長		「司令部長」
署本部長		「署本部長」
隊長		部隊名を明示
副隊長	黄色	
隊員	灰色	

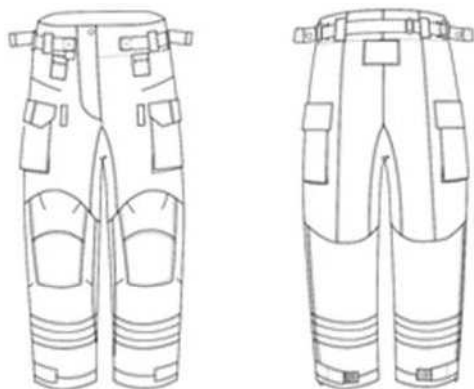
防火帽しころの識別章の図



防火衣上衣制式の図



防火衣ズボン制式の図



防寒衣コート型制式の図



防寒衣ジャンパー型制式の図



雨衣上衣制式の図



雨衣ズボン制式の図



別表第 2（第 3 条関係）

保 安 帽	地 質		白色の硬質地
	制 式		ハーフシェル型とし、内部に頭部の衝撃を防ぐ装置を付ける。 顎ひもを付け、帽の下端外周りに衝撃緩衝用ゴムを巻く。 帽の左右の側面に、「京都市消防局」の文字を黒色で入れる。 形状は、保安帽制式の図のとおりとする。
	帽 章		帽の前面に、銀色の消防き章を付ける。 形状は、保安帽帽章の図のとおりとする。
	周 章		別表第 1 防火帽と同様とする。ただし、反射線は灰色とする。
救 急 帽	地 質		白色の硬質地
	制 式		ハーフシェル型とし、内部に頭部の衝撃を防ぐ装置を付ける。 顎ひもを付ける。 帽の左右の側面に「京都市消防局」の文字を青色の反射材で入れ、後面には所属等を明示する文字を入れる。 形状は、救急帽制式の図のとおりとする。
	帽 章		帽の前面に、銀色の消防き章を金色の桜模様で囲んだ標章を付ける。 形状は、救急帽帽章の図のとおりとする。
	周 章		別表第 1 防火帽と同様とする。
活 動 用 下 衣	長 袖	地 質	濃紺色の布地
		制 式	丸首襟とする。 胸部の左に「KYOTO CITY」及び「FIRE DEPT.」の文字を白色でプリントする。 袖口は、ゴム織りとする。 形状は、活動用下衣長袖の図のとおりとする。
	半 袖	地 質	長袖と同様とする。
		制 式	丸首襟とする。 胸部の左に「KYOTO CITY」及び「FIRE DEPT.」の文字を白色でプリントする。 形状は、活動用下衣半袖の図のとおりとする。

統括指揮活動服	上 衣	地 質	紺色の制電性を有する難燃性の布地とし、襟、袖の外側、肩及び後面の上部にオレンジ色を配する。
		制 式	ワイシャツカラーとし、掛け合わせにフルファスナーを付ける。 立て襟とし、胸部の右側に２個、左側に１個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 後面の上部に「京都市消防局」、「KYOTO CITY FIRE DEPT.」及び「HYPER COMMAND TEAM」の文字を青色の反射材で入れる。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、統括指揮活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸 章	別表第１活動服と同様とする。
		所 属 章	
		個 人 章	
	ズ ボ ン	地 質	別表第１活動服と同様とする。
		制 式	
	パ ン ド		
	統括指揮隊員腕章		紫がかった濃紺色の布製及び合成皮革製の台地に金色の刺しゅう状の縁取りを、金色及び銀色で図柄を、金色で「KYOTO」、「統括指揮隊」及び「Hyper Command Team」の文字をそれぞれ付けたものとする。 統括指揮隊員は、左上腕部に統括指揮隊員腕章を付ける。 形状は、統括指揮隊員腕章の図のとおりとする。
	上 衣	地 質	オレンジ色の導電性を有する難燃性の布地とし、襟、肩及び後面の上部に紺色を配する。
		制 式	折り襟とし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右に各１個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、肘当て付き長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 後面の上部に「京都市消防局」及び「SUPER A

特別高度救助活動服			DVANCED RESCUE TEAM」の文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、特別高度救助活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸章	別表第1 救助活動服と同様とする。
		所属章	別表第1 活動服と同様とする。
		個人章	
	ズボン	地質	別表第1 救助活動服と同様とする。
		制式	
	バンド		
特別高度救助隊員腕章		紫がかった濃紺色の合成皮革製の台地に赤色及び黄色で刺しゅう状の縁取りを、銀色及び金色で図柄を、オレンジ色、黄色及び銀色で「KYOTO」、「特別高度救助隊」及び「Super Advanced Rescue Team」の文字を付けたものとする。 特別高度救助隊員は、左上腕部に特別高度救助隊員腕章を付ける。 形状は、特別高度救助隊員腕章の図のとおりとする。 特別高度救助隊員で救急救命士の資格を有する者は、同腕章に加え、右上腕部に救急救命士腕章を付ける。	
飛行服	上衣	地質	オレンジ色の布地
		制式	折り襟とし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右に各1個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、長袖とし、左の上腕部に1個のファスナー及び鉛筆差し付きポケットを付け、袖口にファスナー開きのタックをとる。 後面は、袖付け部から左右にタックをとる。 左右の脇下端にゴムベルトを付ける。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、飛行服上衣制式の図のとおりとする。
		胸章	白色の布地の台地に「京都市消防局」の文字を赤色で刺しゅうする。 形状は、別表第1 活動服と同様とする。

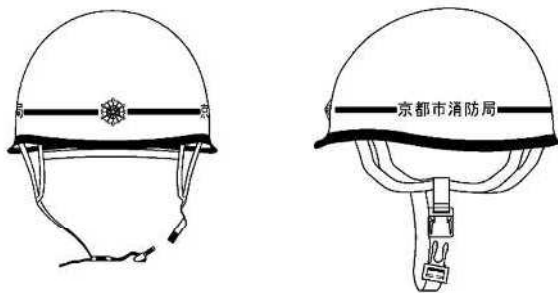
		所 属 章	別表第 1 活動服と同様とする。
		個 人 章	
	ズ ボ ン	地 質	上衣と同様とする。
		制 式	膝当て付き長ズボンとし、右もも及び両下肢の側面に各 1 個のファスナー付きポケットを付ける。 左ももに地図留めを付ける。 裾は、シングルとし、ファスナー開きのタックをとる。 形状は、飛行服ズボン制式の図のとおりとする。
バ			

救急実習服		制	式	救命士腕章をそれぞれ付ける。 袖口及び襟元から袖にかけて、暗灰色の平織線をつける。 胸部の左及び側腹部の左右にポケットを付ける。 胸部の右に「京都市消防局」及び「救急救命士」の文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 形状は、救急実習服制式の図のとおりとする。	
付属品	き			章	合冬服の襟章と同様とする。ただし、直径は１２ミリメートル、市章径は１１ミリメートル、消防き章径は７ミリメートルとし、ピン式とする。
	帽	雨	覆	い	透明のビニール地で、帽子を覆うものとする。

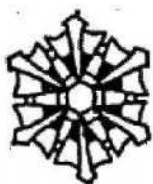
京都市消防吏員服制の形状及び寸法

数字は、寸法を示し、その単位はミリメートルとする。

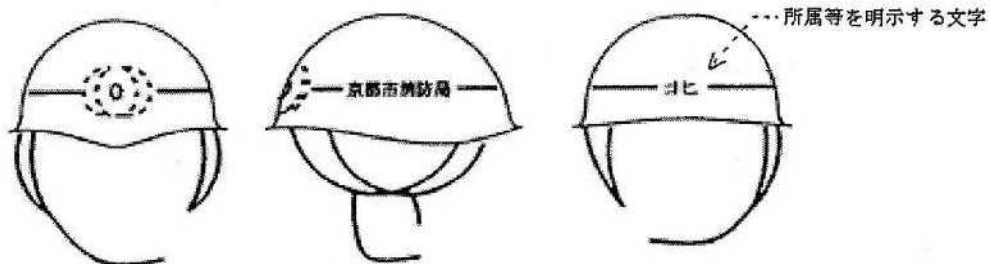
保安帽制式の図



保安帽帽章の図



救急帽制式の図



救急帽帽章の図



活動用下衣長袖の図



活動用下衣半袖の図



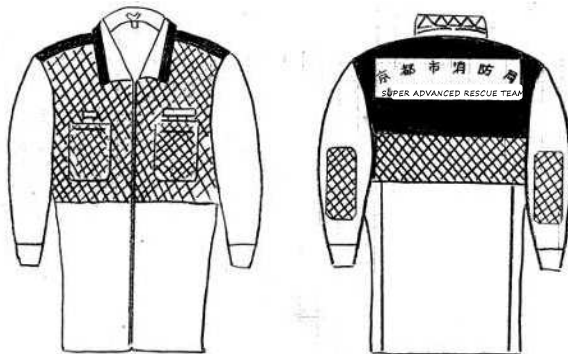
統括指揮活動服上衣制式の図



統括指揮隊員腕章の図



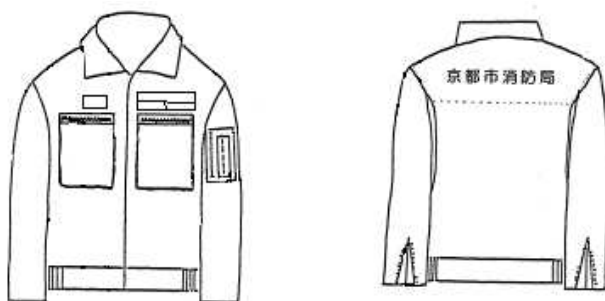
特別高度救助活動服上衣制式の図



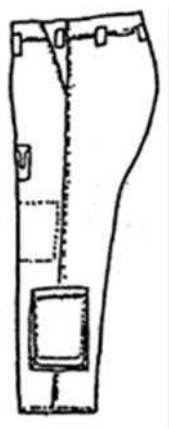
特別高度救助隊員腕章の図



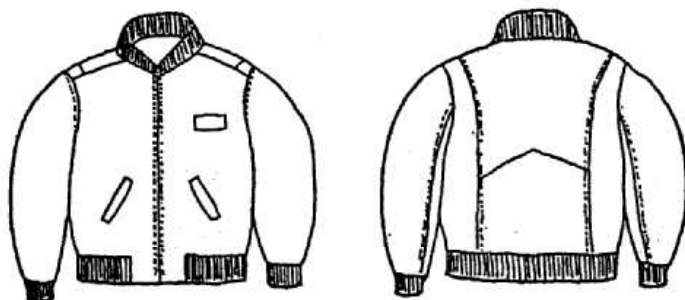
飛行服上衣制式の図



飛行服ズボン制式の図



防寒服制式の図



活動服（半袖）制式の図



救急実習服制式の図

